

## 平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦

TEL 06-6466-6661

四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	55,640	0.3	4,680	9.0	4,770	3.5	2,982	16.3
30年3月期第3四半期	55,808	2.6	5,140	6.5	4,941	2.3	3,564	11.2

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,712百万円 (40.2%) 30年3月期第3四半期 4,538百万円 (51.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	103.79	103.22
30年3月期第3四半期	122.76	122.14

注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	78,455	44,710	53.5	1,466.87
30年3月期	76,155	43,349	53.5	1,410.38

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 41,938百万円 30年3月期 40,747百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		25.00	25.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	1.2	6,600	0.2	6,500	1.7	4,200	8.2	145.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名)迪恩特塗料(浙江)有限公司、除外 - 社 (社名) -

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	29,710,678 株	30年3月期	29,710,678 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	1,119,805 株	30年3月期	819,606 株
----------	-------------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	28,734,922 株	30年3月期3Q	29,035,727 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しました。一方、米国の保護主義的な政策に起因する通商問題や金融資本市場の変動などが景気の下振れリスクとして懸念されており、先行きの不透明感が高まっている状況です。

当社グループの経営成績については、売上高は主力の国内塗料事業で前年同期を下回ったことから、556億4千万円（前年同四半期比 0.3%減）、営業利益は原材料価格高騰により押し下げられ、46億8千万円（同 4億6千万円減）、経常利益は前年同期に比べて製品補償引当金繰入額が減少するなどして、47億7千万円（同 1億7千万円減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は29億8千2百万円（同 5億8千2百万円減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## 〔国内塗料事業〕

主力の構造物分野では鉄骨需要を中心に堅調に推移しましたが、建材分野では需要が低調に推移し、売上は減少しました。また、原材料価格の高騰により、各塗料分野の利益は大きく押し下げられました。これに対応した製品価格改定の効果は拡大し、収益性の改善は更に進んでおりますが、当セグメント全体の業績としては減収減益となりました。

この結果、売上高は403億5千3百万円（前年同四半期比 0.9%減）、営業利益は24億2千2百万円（同 4億4千3百万円減）となりました。

## 〔海外塗料事業〕

東南アジア市場では主力のタイにおいて自動車部品分野の需要が堅調に推移し、売上は増加しました。一方、北中米市場では主要取引先の減産影響等により、自動車部品分野の売上が減少しました。利益面では、北中米市場における高収益品の売上減少等により前年同期を下回り、当セグメント全体の業績としては増収減益となりました。

この結果、売上高は59億8千4百万円（前年同四半期比 1.6%増）、営業利益は8億8千7百万円（同 1億8千8百万円減）となりました。

## 〔照明機器事業〕

蛍光灯分野では市場の縮小が継続しておりますが、商業施設における改装需要の高まりから照明工事の受注が増加し、売上はわずかに増加しました。利益面では、製造原価や販売管理費の低減に努めたことで前年同期を上回り、増収増益となりました。

この結果、売上高は67億6千8百万円（前年同四半期比 0.0%増）、営業利益は8億5千4百万円（同 1億2千4百万円増）となりました。

## 〔蛍光色材事業〕

顔料分野では売上は前年同期並みを維持し、塗料分野等の加工品では国内市場において需要が堅調に推移し、売上は増加しました。利益面では、原材料価格高騰の影響を強く受けたことで前年同期を下回り、増収減益となりました。

この結果、売上高は9億7千2百万円（前年同四半期比 2.0%増）、営業利益は5千8百万円（同 4千3百万円減）となりました。

## 〔その他事業〕

売上高は15億6千1百万円（前年同四半期比 4.7%増）、営業利益は2億5千2百万円（同 7千万円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は784億5千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億9千9百万円の増加となりました。流動資産は357億4千9百万円で前連結会計年度末と比較して23億1千7百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の増加13億9千6百万円、受取手形及び売掛金の増加2億2千4百万円、たな卸資産の増加1億5百万円、その他の増加5億7千9百万円が主因であります。固定資産は427億5百万円で前連結会計年度末と比較して1千7百万円の減少となりましたが、これは有形固定資産の減少2億4千1百万円、無形固定資産の減少4千9百万円、投資その他の資産の増加2億7千3百万円が主因であります。

負債は337億4千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億3千8百万円の増加となりました。流動負債は273億7千5百万円で前連結会計年度末と比較して9億3千6百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加3億5千万円、短期借入金の増加18億3千6百万円、未払法人税等の減少6億1千万円、その他の減少5億1千1百万円が主因であります。固定負債は63億6千8百万円で前連結会計年度末と比較して2百万円の増加となりましたが、これは繰延税金負債の増加1億6千9百万円、リース債務の減少1億3千8百万円が主因であります。

純資産は447億1千万円で前連結会計年度末と比較して13億6千1百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加22億6千万円、自己株式の増加4億3百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億8千9百万円、退職給付に係る調整累計額の減少3億7千9百万円が主因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、前回発表（平成30年5月11日）の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,428	5,824
受取手形及び売掛金	18,561	18,785
商品及び製品	5,579	5,640
仕掛品	753	774
原材料及び貯蔵品	3,095	3,119
その他	1,077	1,657
貸倒引当金	△63	△51
流動資産合計	33,432	35,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,248	19,449
減価償却累計額	△13,394	△13,748
建物及び構築物(純額)	5,853	5,700
機械装置及び運搬具	21,240	21,406
減価償却累計額	△18,069	△18,385
機械装置及び運搬具(純額)	3,170	3,020
土地	11,678	11,682
リース資産	1,324	1,326
減価償却累計額	△648	△757
リース資産(純額)	676	569
建設仮勘定	62	174
その他	5,369	5,551
減価償却累計額	△4,310	△4,441
その他(純額)	1,058	1,109
有形固定資産合計	22,499	22,257
無形固定資産		
リース資産	244	155
その他	393	432
無形固定資産合計	637	587
投資その他の資産		
投資有価証券	6,553	6,156
繰延税金資産	2,118	1,864
退職給付に係る資産	10,392	11,250
その他	591	655
貸倒引当金	△69	△67
投資その他の資産合計	19,586	19,860
固定資産合計	42,723	42,705
資産合計	76,155	78,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,595	17,945
短期借入金	1,963	3,800
リース債務	280	210
未払法人税等	806	195
役員賞与引当金	33	—
製品補償引当金	379	349
環境対策引当金	—	3
その他	5,380	4,869
流動負債合計	26,439	27,375
固定負債		
長期借入金	27	—
リース債務	728	590
繰延税金負債	3,149	3,318
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	986	1,006
環境対策引当金	103	96
その他	67	53
固定負債合計	6,366	6,368
負債合計	32,806	33,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,452	2,452
利益剰余金	21,025	23,285
自己株式	△919	△1,322
株主資本合計	31,385	33,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,346	2,056
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△51	△48
退職給付に係る調整累計額	5,185	4,806
その他の包括利益累計額合計	9,362	8,696
新株予約権	138	170
非支配株主持分	2,462	2,601
純資産合計	43,349	44,710
負債純資産合計	76,155	78,455

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	55,808	55,640
売上原価	38,488	39,004
売上総利益	17,320	16,635
販売費及び一般管理費	12,179	11,955
営業利益	5,140	4,680
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	154	172
その他	186	203
営業外収益合計	350	389
営業外費用		
支払利息	54	40
製品補償引当金繰入額	268	97
その他	227	160
営業外費用合計	549	298
経常利益	4,941	4,770
特別利益		
固定資産売却益	4	3
投資有価証券売却益	595	4
その他	33	—
特別利益合計	634	7
特別損失		
固定資産処分損	40	53
ゴルフ会員権評価損	—	14
災害による損失	39	—
その他	9	—
特別損失合計	90	67
税金等調整前四半期純利益	5,484	4,710
法人税、住民税及び事業税	1,287	692
法人税等調整額	334	716
法人税等合計	1,621	1,409
四半期純利益	3,862	3,301
非支配株主に帰属する四半期純利益	298	318
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,564	2,982



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	3,862	3,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	586	△289
為替換算調整勘定	172	79
退職給付に係る調整額	△82	△379
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	675	△588
四半期包括利益	4,538	2,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,180	2,316
非支配株主に係る四半期包括利益	358	395

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が402百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,322百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、迪恩特塗料(浙江)有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、迪恩特塗料(浙江)有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	40,706	5,892	6,765	952	54,317	1,491	55,808	—	55,808
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	702	—	0	48	751	1,886	2,637	△2,637	—
計	41,408	5,892	6,766	1,001	55,068	3,377	58,446	△2,637	55,808
セグメント利益	2,866	1,076	730	102	4,775	181	4,957	182	5,140

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額182百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	40,353	5,984	6,768	972	54,078	1,561	55,640	—	55,640
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	816	0	4	50	871	1,859	2,731	△2,731	—
計	41,169	5,985	6,772	1,022	54,950	3,421	58,371	△2,731	55,640
セグメント利益	2,422	887	854	58	4,223	252	4,476	204	4,680

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額204百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。